

視聴覚教育時報

No.744 2024年 6月号

contents

- ▽令和6年度 第1回文書理事会について
- ▽令和6年度の役員について
- ▽令和6年度 講師派遣事業について
- ▽令和5年度 講師派遣事業の実施結果について
- ▽令和5年度 全視連の調査研究2件の報告書をHPで公開
- ▽令和6年度 視聴覚・放送教育の全国大会のご案内について
- ▽全視連「賛助会員」(ライブラリー会員)について
- ▽えすけーぶ

▽令和6年度 第1回文書理事会について

既報のとおり、例年4月に開催の第1回常任理事会は、文書により実施しました。4月22日を期日として、下記議案についてすべて役員の方々にご承認いただきました。常任理事会の承認を受けて、令和6年度の第1回理事会についても例年通り文書理事会をもって総会に代えることとし、各加盟団体理事宛に文書を5月17日付けで発送し、5月31日を期限として下記第1号議案～5号議案について、すべて承

認をいただきました。

【文書理事会により決定された事項】

- 第1号議案 令和4年度事業報告書(案)
- 第2号議案 令和4年度収支決算書(案)
- 第3号議案 令和5年度事業計画書(案)
- 第4号議案 令和5年度収支予算書(案)
- 第5号議案 役員改選(案)について

▽令和6年度の役員について

全視連の役員の任期は2年となっており、今年度は役員改選のため理事会の承認のもと、下記の方々にご就任いただくこととなりました。令和6年度、7年度の役員は以下の通り。なおアンダーラインの方は、新規に就任された方々です。

会長

- 馬場祐次朗(元文部科学省生涯学習政策局社会教育官/全国体験活動ボランティア活動総合推進センター)

副会長

- 鈴木 等(茨城県視聴覚教育振興会顧問)

- ・若月隆雄（新潟県立生涯学習推進センター次長）
常任理事
- ・戸村紀子（栃木県視聴覚教育連盟委員長）
- ・山口 明（群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会会長）
- ・富士池長雄（埼玉県視聴覚教育連絡協議会会長）

- ・小安和美（千葉県視聴覚ライブラリー連絡協議会理事長）
 - ・岡部守男（日本視聴覚教育協会常務理事）
- 監事
- ・中里恭一（北村山視聴覚教育センター所長）
 - ・小幡 拓（仙台市教育委員会生涯学習課長）

▽令和6年度 講師派遣事業について

本事業は、各加盟団体が実施する研究会・研修会に対して、“全視連指導協力者会議”の学識経験者の中から、または加盟団体が独自に選定する講師を要請に応じて講師の派遣を行い、全視連が講師謝金を負担する事業です。

各加盟団体等が主催する研究会や生涯学習メディア利用研修会等への講師派遣申請を10月31日まで受け付けています。

※なお、コロナウイルスなどの感染状況によっては、テレビ会議での講演となることがあります。

- <講師> (敬称略)
- ・市川 昌（江戸川大学メディア・コミュニケーション学部名誉教授）
 - ・伊藤敏朗（映画監督、東京情報大学非常勤講師）
 - ・坂井知志（日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事／岐阜女子大学特別客員教授）
 - ・篠原文陽児（東京学芸大学名誉教授）
 - ・立見康彦（元群馬大学教育学部大学院教育学科研究科客員教授、元群馬県視聴覚センター課長、現群馬県退職校長会会長）
 - ・平沢 茂（文教大学名誉教授）
 - ・吉田広毅（関東学院大学副学長・国際文化学部教授）
 - ・村上長彦（全国視聴覚教育連盟専門委員長）
 - ・丸山裕輔（新潟県五泉市立村松小学校教諭／全国視聴覚教育連盟副専門委員長）

▽令和5年度 講師派遣事業の実施結果について

昨年度の講師派遣事業については下記の4加盟団体から申請があり、次のような内容により実施しました。

▽令和5年度群馬県教育メディア指導者養成講座

主 催：群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議会
日 時：令和5年7月28日（金）13：30～16：00
会 場：群馬県生涯学習センター
参加者：19名
講 師：立見康彦氏（群馬大学教育学部大学

院教育学科研究科客員教授）
テーマ：「①講義：視聴覚教育メディア総論」
「②講義：情報モラル・著作権・セキュリティ」「③講義・実習：16ミリ映写機操作技術認定講座」

▽第64回愛媛県メディア教育研究大会

主 催：愛媛県メディア教育協会
概 要：令和5年10月11日（水）13:30～16:30
会 場：愛媛県生涯学習センター
参加者：55名
講 師：長谷川春生氏（富山大学大学院教職

実践開発研究科教授)

テーマ:「1人1台端末や生成AIの活用などから考えるこれからの学校教育」

▽令和5年度メディア研修会 特別講演会

主催:新潟県立生涯学習推進センター
概要:令和5年11月1日(水)15:00~16:30

会場:新潟県立生涯学習推進センター
参加者:27名
講師:坂井知志氏(岐阜女子大学特別客員教授)

テーマ:「これからの視聴覚教育—オンライン

講座に必要な権利の知識—」

▽令和5年度生涯学習視聴覚フォーラム

主催:岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会
概要:令和5年12月3日(日)13:00~15:30

会場:日本まん真ん中センター
参加者:60名
講師:近藤良一氏(鳥羽市歴史民俗資料館・映画資料館名誉館長)

テーマ:「視聴覚作品コンクールにおける作品の講評・総評および作品制作のポイント」

昨年度の研修会の様子



群馬県



愛媛県



新潟県



岐阜県

▽令和5年度 全視連調査研究プロジェクト報告書をHPで公開

昨年度の調査研究は「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーの機能強化に向けた調査研究」をテーマに報告書をまとめ、このほどHPにて公開しました。

<内容>

1. オンライン交流会の実施
16 ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性
2. 視聴覚教育総合全国大会での実践発表

仙台市における自作視聴覚教材制作の取り組みとデジタル化について

3. 特別寄稿
授業におけるデジタルアーカイブの活用事例
4. 研究のまとめ

<報告書掲載アドレス>

<http://www.zenshi.jp/report.html>



16 ミリ映写機操作講習会に関する交流会

▽令和6年度 視聴覚・放送教育の全国大会のご案内について

今年度の第28視聴覚教育総合全国大会・第75回放送教育研究会全国大会 合同大会は、11月9日（土）にオンラインにより開催されます。

このほど生涯学習部会のセミナー講師および実践発表者が下記のように決まりました。

<セミナー>

テーマ「16 ミリフィルム利用の延命策と終い方」

- ・講師 立見 康彦先生（元群馬大学教育学部大学院教育学科研究科客員教授、元群馬県視聴覚センター課長、現群馬県退職校長会会長）

<実践発表>

テーマ「県の視聴覚教育施設の取り組みと市町村に対する支援策の状況」

- ・講師 丸山 裕輔氏（全国視聴覚教育連盟副専門委員長）
- ・実践発表者2名

- ① 新潟県立生涯学習推進センター

合同大会 令和6年度
第28回視聴覚教育総合全国大会
第75回放送教育研究会全国大会

令和6年11月9日(土)
オンライン開催

大会テーマ
未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用

主催：
全国放送教育研究会連盟 NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般財団法人日本視聴覚教育協会)

【問い合わせ先】
■全国放送教育研究会連盟事務局 <https://hosokyoiku.jp/taikai/>
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHKメディア総局附属センター内
TEL. 03-5455-4310 FAX. 03-3481-1372
■一般財団法人 日本視聴覚教育協会 <http://www.javea.or.jp/soutai/>
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11成ノ門Fビル
TEL. 03-3431-2186 FAX. 03-3431-2192

大会の最新情報はこちら
[QRコード] [QRコード]

全国放送教育研究会連盟 日本視聴覚教育協会

② かがしま県民大学中央センター

また同大会の案内ができあがり、HP にアップされましたので、下記アドレスより参照いた

だき、関係先への周知をよろしくお願いいたします。

<https://www.javea.or.jp/soutai/>

▽全視連「賛助会員」(ライブラリー会員) について

当連盟では、各都道府県指定都市単位で加盟する制度と、各ライブラリー単位や個人が加盟する賛助会員の2つの制度がある。

賛助会員として加盟すると、当連盟の各種サービスを受けることができ、それに加え、視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を当連盟に提出することで、権利者団体である(公財)映像文化製作者連盟に提出することができる。

賛助会員についての細則は下記の通り。

(目的) 第1条

この細則は、全国視聴覚教育連盟規約第6章の規定に基づき、必要な事項を定める。

(構成員) 第2条

当連盟の趣旨に賛同し、連盟の活動を援助する個人または団体を賛助会員とする。

(注) 従来の各都道府県単位で加盟する会員の他に、各視聴覚センター・ライブラリーや個人を対象とする会員。

(会費) 第3条

賛助会員は、年額10,000円の会費を納めるものとする。

(会費納入方法) 第4条

会費は毎年6月中に納入するものとする。

(特典) 第5条

賛助会員は、次の各号に掲げる特典を得ることができるものとする。

1. 機関誌「視聴覚教育時報」その他本連盟の刊行物の配布を受けることができる。

(注) 視聴覚教育時報、各種調査研究事業報告

全国視聴覚教育連盟 賛助会員 細則	
全国視聴覚教育連盟	
(目的)	第1条 この細則は、全国視聴覚教育連盟規約第6章の規定に基づき、必要な事項を定める。
(構成員)	第2条 連盟の趣旨に賛同し、連盟の活動を援助する個人または団体を賛助会員とする。 (注) 従来の各都道府県単位で加盟する会員の他に、各視聴覚センター・ライブラリーや個人を対象とする会員。
(会費)	第3条 賛助会員は、年額10,000円の会費を納めるものとする。
(会費納入方法)	第4条 会費は毎年6月中に納入するものとする。
(特典)	第5条 賛助会員は、次の各号に掲げる特典を得ることができるものとする。 1. 機関誌「視聴覚教育時報」その他本連盟の刊行物の配布を受けることができる。 (注) 視聴覚教育時報、各種調査研究事業報告書、メルマガ、開発DVD教材(HPからのダウンロードを含む)。 2. 機関誌に優先的に広告を掲載できる。 3. 本連盟主催の各種会合等に参加できる。 (注) 視聴覚教育総合全国大会、全国自作視聴覚教材コンクール、各種研究会・研修会(講師派遣事業は除く)。 4. 本連盟の活動について意見を述べることができる。 5. 視聴覚教材の廃棄・移管届け (注) 視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を連盟に提出することができる。

書、メルマガ、開発DVD教材(HPからのダウンロードを含む)。

2. 機関誌に優先的に広告を掲載できる。

3. 本連盟主催の各種会合等に参加できる。

(注) 視聴覚教育総合全国大会、全国自作視聴覚教材コンクール、各種研究会・研修会(講師派遣事業は除く)。

4. 本連盟の活動について意見を述べるができる。

5. 視聴覚教材の廃棄・移管届け

(注) 視聴覚センター・ライブラリーが保有する16ミリフィルムやビデオ教材を廃棄・移管する場合、「視聴覚教材の廃棄届け」「視聴覚教材の移管届け」を連盟に提出することができる。

▽えすけーぷ

5月28日に、東京・銀座でレコードを戦前から取り扱い、レコードやCDなどの音楽ソフトの販売や楽器の販売を行っている大手楽器店が、CDや映像商品の販売を7月末で終了するというニュースが流れました。

私も近所のレコード店では手に入らない中世からバロックの輸入レコード、そしてCDを探しによく通ったお店ですが、インターネット配信で音楽を聴くことが中心になり、足が遠のいていました。ニュースによれば、かつては1階を中心に売り場があったCD売り場は、2019年には4階に移動していたそうです。3年ほど前にお店に立ち寄った時に、レイアウトが変わって雰囲気も変わっていたことを思い出しました。

一般社団法人日本レコード協会は「日本のレコード産業」というレポートを毎年発行しています。2024年版に掲載されている2023年の音楽ソフト生産実績を見ると、CDの生産は108,786枚で、音楽ソフト生産の68.4%と7割近くを占めており、前年比では108%と若干の増加もみられます。

日本は海外と比べると音楽を聴く手段としてまだまだCDが多いといわれており、CDの生産が前年より増加しているという数字を見ると、素人目にはまだまだCD撤退という状況ではないように思えます。

しかし、CDをはじめとした音楽ソフトの年間生産額は1998年の約6,075億円がピ

ークで、2023年は2,207億円とピークの36%まで落ち込んでいます。専門家の見方ではもう生産が回復することはない、音楽配信に移行していくということのようです。

とはいえ、アイドルグループのイベントでCDが握手券付きで販売されたり、イベントのお土産の一品にCDが入っていたりと、音楽配信では代わりにならないCDならではの使い方もあるので、単純に音楽配信に移行していくという訳ではなさそうです。

1877年にエジソンが錫箔円筒蓄音機の公開実験を行って間もなく150年となるレコードはCDの出現によって数を減らし、コレクター向けにわずかに復活しましたが、1982年に発売開始となったCDは50年を迎える前に役割が終わったといわれ始めています。

フィルムからテープ、DVDと移行してきた映像媒体の歴史と相通じるところを感じますし、新しい媒体ほど寿命が短くなってきていることも共通しているように思います。

まだすぐにCDがなくなる訳ではありませんが、公的機関で貸し出しや視聴サービスを行っているCDが今後どうなっていくのか、音楽配信など、それに変わる媒体に対して公的機関がどのように取り組んでいくべきなのか、公的機関としての目的を達成するためにどのような手段を選ぶのかを考えておく必要があるでしょう。(T. M)

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

小学校道徳・特別活動・防犯

小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう!

1巻 学ぼう! スマホのトラブルを防ぐマナーとルール

2巻 考えよう! スマホを使った上手なコミュニケーション

1巻で「スマホと個人情報の守り方」「ネットの課金トラブル」「スマホ依存症」、2巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」のテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。子供たちに、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考えさせ、トラブルにつながる行動の自覚を促し、正しい判断力が育成されることを狙いとします。(1巻 約24分 2巻 約23分)



各巻 77,000円(税込) 2巻セット価格 143,000円(税込)
 学校特別価格各巻 38,500円(税込) 2巻セット学校特別価格 71,500円(税込)

中学校道徳・人権啓発

障害のある人の気持ち 私たちの一歩

中学生たちに車いすに乗ってもらい、車いすでの生活にはどのような困難や危険があるのか体験します。また、パラスリットの方へのインタビューから、どんな手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのか考えていきます。(約18分)



字幕・副音声版付き

77,000円(税込)
 学校特別価格 38,500円(税込)

国際理解・国際貢献を考える ～台湾との絆～

東日本大震災での支援や、新型コロナウイルスへの対策など、日本と台湾は困った時に協力し合ってきました。このような日本と台湾の絆を関係者のインタビューを交えて紹介し、国際理解・国際貢献について考えていきます。(約14分)



字幕版付き

77,000円(税込)
 学校特別価格 38,500円(税込)

防災

はなかつぱのぼうさいくんれん 「おかしもち」でいのちをまもろう

子供たちに大人気の「はなかつぱ」と仲間たちが登場する、幼児・小学生(低学年)向けの防災アニメーション教材です。「おかしもち」を合言葉に、地震が起きたときにどのように命を守る行動をとればよいか、学ぶことができる教材です。(約14分)



©2010 あきやまただし/はなかつぱプロジェクト
 77,000円(税込) 学校特別価格 38,500円(税込)

道徳・平和教育

お父さんへの千羽鶴

ともえちゃんのお父さんは特攻隊員でした。千羽鶴に託された家族の祈りと、二度と帰れぬお父さんの想い。愛する家族と国を守るために亡くなったお父さんの姿から、平和の尊さ、家族の絆の大切さを子供たちに伝えます。(約14分)



原作 ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)

字幕版付き

77,000円(税込)
 学校特別価格 38,500円(税込)

お問い合わせ・チラシ請求は

TEL 03(3535)3631 FAX 03(3535)3632



<https://www.toei.co.jp/edu/>

←予告欄はこちら



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>